



ムラサキシキブ

シソ科 落葉低木

樹林の周囲に自生し、庭木としても植えられる。6月頃、淡紫色の小花が集まって咲き、秋に紫色の小さな果実をつける。小柄のコムラサキは、果実が非常に多い。



紫色の果実



コムラサキの果実



アオキ

アオキ科 常緑低木〈雌雄異株〉

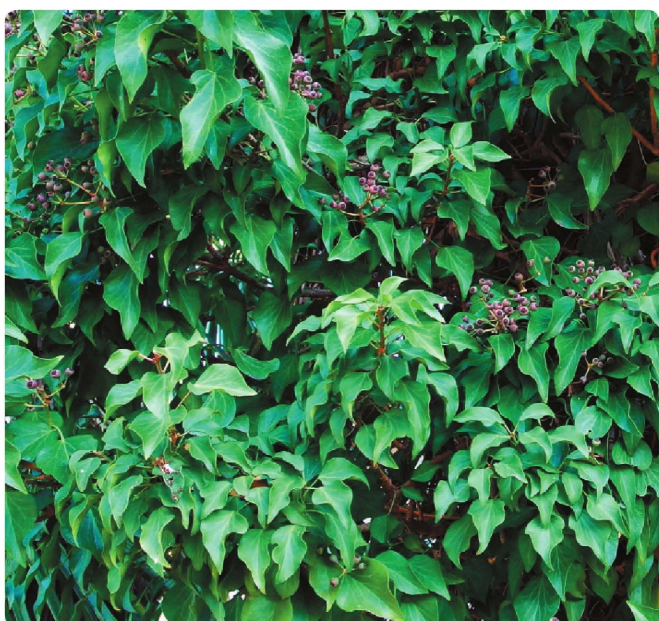
樹林の薄暗いところにも群生し、根元から枝分かれしながら林床を覆う。樹皮は緑色。葉は光沢がある。3～4月に開花し、楕円形の果実は冬に赤くなり、春まで残る。



雄花



赤くなった果実



キツタ

ウコギ科 常緑つる性

山野に生え、気根を出して木を這い登るが、木は枯らさない。秋に開花し、翌年春に果実が青紫色に熟す。同じ仲間の外来種のヘデラも山野に逸出している。



気根



熟した果実